

「新型コロナウイルス感染症」に関する

六角橋教会の対応について

いわば「様子見」が続いてきた政府でしたが、先週になって立て続けに（根拠のよくわからないまま）警戒レベルを上げてきました。週末には、教団および教区からも「注意喚起」が通知されてきました。

そこで、六角橋教会としては、次のように対応することになりました。

① 礼拝および祈禱会——通常どおりです。但し、決して無理に出席することのないように、各自で判断ください。また、出席される方は、入り口で手指をアルコール消毒し、マスクを着用してください。

② 諸集会——2週間は原則として休会（平和カフェ、シャローム例会）。それ以降は様子を見ながら判断。開催する場合は、少人数に限定し、場所および時間など、安心して参加できるように、出席者ともよく相談して判断します。

③ 委員会など——今日の役員会は、出席できる人で開催し、会計一次案など、役員会承認事項を中心に

協議します。なお、その他の委員会や打ち合わせが必要な場合も、「濃厚接触のリスク時間」とされる30分を越えないようにしてください。

④ 諸奉仕——不要不急の外出以外は控えていただきたいので、奉仕も、できる人の手で、できる範囲でおこないます。そのために、至らないこともあるかもしれませんが、どうぞご容赦ください。

ここ数週間は、不安が募る状態になるかもしれません。そんな時だからこそ、私たちは「祈り合う群れ」として強められるのです。互いを支え合う祈りを、それぞれの場で、これまで以上に篤くしてすごしましょう。

3月12日(木)にWHOが「パンデミック」(世界的大流行)を宣言し、19日(木)には政府が4回目の「国民の皆さまへのメッセージ」を発表。警戒が必要な状況が続くなか、各教会は、それぞれが苦慮しながら対応を続けています(参考になる情報を掲示板に貼りだしてありますので、どうぞ「ご覧ください」)。

六角橋教会としては、引き続き礼拝と祈祷会はいつもとどおりに、その他の集会が必要であれば、それぞれ衛生と健康に充分留意しながら開催します。4月12日(日)の復活日礼拝と教会総会も、予定どおりおこなう方向ですが、時間短縮や議事運営など、状況に応じた対応を、前週の役員会で協議します。

不安が増す日々ですが、何よりも大切なのは、それぞれの健康です。そして畏れるべきものを畏れる「正しいオソレ」を胸に、お互いのために祈り合う群れとして強められるときをしましょ。

◆ 新型コロナウイルス感染症への対応(三つ) ③

* 教会定期総会は、復活日礼拝(12日)の後に予定していましたが、1週間後の19日(日)に延期。昼食抜きで、1時間以内の審議を目指します。

* 総会の成立要件(議員出席66名が満たされない場合は、成立要件に「委任状」を含めます。委任状は5日から配布・受付。

* 役員本選挙「期日前投票」を、5日と12日に実施

※ 3月19日の安倍首相「国民の皆さまへのお願い」に引き続き、3月26日には首都圏の知事らによる「週末の外出自粛要請」が出され、引き続き「警戒が必要」な状態が続いています。

そこで六角橋教会も、衛生・健康に気を付けつつ、礼拝と祈祷会を開催、他の集まりは必要最低限のものに限定…という基本姿勢を継続しますが、もし「非常事態宣言」が発令された場合には、「礼拝は教職を中心とし、教会員は礼拝出席を控えてください」と、教会連絡網第二弾でお伝えします。

※ 他教会が幅広く利用し始めている「PC・スマートホンの動画アプリ」での「礼拝ライブ配信」については現在研究中です。